

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)岬工業株式会社社員寮	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2018年1月27日
敷地面積	1,131㎡	作成者	鈴木久美子
建築面積	674㎡	確認日	2018年1月29日
延床面積	2,582㎡	確認者	鈴木久美子



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 既設の社員寮の建て替え計画であり、社員の方々のライフサイクルに沿うように設計しています。建物下に駐車場を設置し、出来るだけ緑化を取り入れ、快適に生活できるように努めています。		<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> ・屋根、外壁、床の断熱施工により内部の熱負荷を抑えている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・専用部分の居室の天井高を2.5mとり、広さと快適性を高めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・敷地内は可能な限り、緑化を設置するように心がけた。
<b>LR1 エネルギー</b> ・BEI=0.84	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・主要水栓に節水コマを採用することで、節水に配慮しました。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物と同等である。 ・周辺住民に迷惑が及ばないように、駐車場、駐輪場の十分な設置台数を確保している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称) 堺工業株式会社社員寮	BEE	BEEランク
	建設地	堺市西区浜寺石津町中一丁555番3	1.3	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 2,582.35 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●	● ●	
省エネ対策	4	● ● ● ● ●	● ●	
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●	● ●	
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●	● ●	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.4	3
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	5.0	4	
		住居・宿泊部分	3.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				5.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				2.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				5.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				対象外
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.0
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			4.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	